

氏名	千葉真希子	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	母性看護学、助産学、国際医療協力				
学位	修士（国際医療協力）				
学歴	2002年茨城県立大学保健医療学部看護学科卒業、2006年千葉県医療技術大学校助産学科卒業、2016年杏林大学大学院国際協力研究科国際医療協力専攻博士前期課程修了				
経歴	2002年茨城県立こども病院入職、2006年千葉県済生会習志野病院入職、2011年独立行政法人国際協力機構 青年海外協力隊派遣、2016年日本看護協会健康政策部助産師課入職、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教着任				
所属学会（役職）	日本助産学会、日本看護管理学会、日本母性衛生学会、日本母性看護学会、日本国際保健医療学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	支援者が認識する在留外国人の妊娠・出産・育児における支援団体へのアクセスの現状	共同	日本国際保健医療学会 第41回西日本地方会、長崎市		○千葉真希子、齋藤恵子	2023.3
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	助産業務管理	○	4	机上災害シミュレーションである避難所運営ゲーム（HUG）を取り入れ、妊産婦等要支援者の災害時支援について考える演習を行った。また国家試験対策を意識し、助産系科目のまとめとして知識の定着が図れる講義になるよう、科目責任者として講義担当者と講義構成を工夫した。		
2	グローバルヘルスと看護		1	国際協力としての看護実践（母子保健活動、5S活動について）等について、自己の海外協力隊や研究における海外での活動報告を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	分娩期のケア		27	学生が各演習の目標達成や臨地実習等の実践をイメージしながら助産過程の展開や分娩介助演習等ができるよう、演習担当および補佐を行った。		
2	母性看護学Ⅱ		9	産褥期の退行性変化の観察では、生殖器のみならず全身の復古をイメージしながら演習できるよう、産科全身シミュレータを用いた演習を行った。また看護過程演習では、学生が実習での実践をイメージした事例の展開をできるような助言を心掛けた。		
3	周産期のケア		14	胎児心拍数陣痛図（CTG）演習では、学生が実際の装着をイメージしながら演習できるよう、産科全身シミュレータを用いたデモンストレーションの工夫を行った。また、集団指導のグループワークでは、学生が対象者の特性を捉えた指導案作成や集団指導の実践のイメージできるよう、学生の反応を見ながら演習を進めた。		

(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	総合実習		2022.7 (うち12日間)	学内代替実習において、遠隔実習補助および産褥期の模擬褥婦等として、学生が妊娠中から退院後の生活がイメージをできるように関わった。	
2	助産学実習II		2022.8~9 (うち11日間)	臨地実習前の学内代替実習において、実習の主担当と協力し、実習経験が少ない学生が実習でのコミュニケーションイメージが高まるように、模擬産婦として関わった。また事例の展開の上で、分娩第1期からの実践をイメージした事例展開ができるよう産科全身シミュレータを用いる等の工夫も行った。	
3	IPW実習	○	2022.10 (うち1週間)	IPW科目責任者（施設FT担当）および地域担当として、地域FTおよび各施設FTを通して学生が遠隔実習できるようサポートを行った。	
(4) 論文指導					
	対象	期間	主旨導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2022.3-2022.12	主旨導	2名	副指導 0名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	母性看護学実習	2022.5~2022.7	産科病棟実習の学内代替実習において、実習担当の教員と協力し、模擬褥婦として臨地実習経験の少ない学生に臨地実習に近い実習教育の質を担保に務めた。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ		開催年月
1	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立坂戸ろ う学園高等部	性教育講演 補佐		2022.11
2	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立鴻巣高 校	性教育講演 補佐		2023.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	一般社団法人 日本国際看護学会	第7回学術集会 企画・準備委員会		2023.2~2024.3	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	地域貢献活動	卒業生・在学生対象	埼玉県立大学ホームカミングデー助産師交流会 「テーマ：多文化共生！今・これから 私たち助産師にできること」における交流会、講演会などの運営および補佐を行った。		2022.10.30
5. 学内運営					
	項目	内容			期間
1	学科等における委員会等	IPW科目責任者会の教員・施設担当の一員として、事前説明会や実習中の地域FTとして施設FT、教員FT、責任者間の調整などを行った。			2022.4~2022.3
2	学科等における委員会等	SPU学会の一員として、学術集会開催（遠隔）に当たり抄録集編集担当、運営などの運営補佐等を行った。			2022.4~2022.11
3	学生支援	国際協力を目指す学生や、実習を経験していないことで就職先や進路等に悩む学部生、編入生の3、4年生からの進路相談を受けた。			2022.4~2022.3
4	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センタープロジェクト研究実施準備として、多文化共生社会における外国にルーツを持つ子育て世代への包括支援推進のための実践研究 一健やかな妊娠・出産・子育て期を目指した文化に配慮した「やさしい日本語」研修プログラム開発の一のメンバーとして2023年開始に向けた準備を行った。			2022.6~ 2023.3.31
5	大学広報活動	新型コロナウイルス感染症禍で対面のオープンキャンパス担当として、学内実習室等を中心に参加者を案内する実習室担当を行った。			2022.8.6

6	国際交流活動	オープンカレッジ 卒業生等支援講座における、「産科スタッフのためのやさしい日本語研修」会において、産科における在留外国人支援で活用できる「やさしい日本語」研修会の企画・運営補助等を行った。	2023.2.23
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		